

盛岡中央公民館にある庭園は 薬草を栽培する「御薬園」と呼ばれていました

春の桜に初夏のアジサイ
秋の紅葉そして雪景色
四季折々に
色んな表情を見せてくれます



延べ床面積7,331㎡、敷地面積21,350㎡で、ともに日本一広い公民館。元々、この場所は、第4代藩主・南部重信の時代に、城中で用いる薬草を栽培した「御薬園」でした。その後、第7代藩主・利幹の時代に藩主の屋敷として整備され、次代の利視が大規模な造園を行いました。昭和30年に南部家から盛岡市に移管され、昭和55年に「中央公民館」として整備されました。

庭園内には、国の重要文化財の商家「糸治」、明治天皇が東北巡幸の際に宿泊所とした「聖風閣」、原敬の別邸内にあった茶室「白芳庵」、盛岡出身の俳人、山口青邨の家「愛宕亭」も移築保存されており、見どころが満載です。

四季折々に咲く花や景色を愛でながら、のんびり散策してみたいかがでしょうか。